

港北力発見☆通信



こう ほく りょく はっ けん つう しん

発行：平成 23 年 3 月 港北区地域力発見プロジェクト 事務局 / 地域振興課地域力推進担当・福祉保健課事業企画担当
〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町 26-1 ☎045-540-2247 FAX045-540-2245

港北区キャラクターミズキ

協力し合って、住みよい地域に!

身近な地域 元気づくり モデル事業 日吉地区

日吉地区は大きく分けて5つのエリア(日吉町、日吉宮前、箕輪、日吉本町、下田町)から成り立っています。それぞれのエリアでは、自治会町内会、地区社会福祉協議会、ケア連絡会、ボランティアグループ、様々な福祉活動グループなどにより、地域ケアプラザ(下田、日吉本町)や町内会館等を拠点として、高齢者向けの食事会や子育て支援のサロン、障がい児者とのふれ合いなど様々な助け合い・支え合いの地域社会づくりの活動が行われています。

広く多彩な地区であることの課題解決をするため、第1期地域福祉保健計画を契機に、「福祉のまち日吉ネットワーク会議」を立ち上げ、それぞれのエリアを越えた、障がい・高齢者・ボランティア・子育ての分科会活動をつくってきました。

平成 21 年に、「身近な地域・元気づくりモデル事業」*のモデル地区として、「光と活力」実行委員会を立ち上げ、地区内の小さな活動にも光をあて、活力ある日吉地区をつくっていかうという試みを開始し、第1回の福祉保健活動実践発表会を行いました。

一つひとつの活動が光り、大きな活力に発展

平成 23 年 2 月 5 日(土)には慶應義塾大学日吉キャンパス協生館で、第2回福祉実践活動発表会「光と活力」が行われました。当日は、500席の会場がほぼ満席となりました。新たな計画となる「ひとつとプラン港北」日吉地区計画の素案について地区社会福祉協議会事務局長の白鳥千代子さんと港北区福祉保健センター平松担当部長の対談や地域の活動団体による事例発表、パネル展示が行われました。

今回の大きな特徴は、実行委員会で作成した日吉地区地域福祉活動団体それぞれの思いのつまった「シート集」が配布されたことです。



日吉地区では、これから「一つひとつの活動が光り、大きな活力に発展するまち 日吉」をつくっていくとを目標に、地域のネットワークづくりを行っていきます。

*日常生活圏において、自治会町内会などの地域の団体が集まって、話し合いをしながら課題解決を図り、地域のみなさんが、自分たちが望む地域をつくっていく取組を支援するため、横浜市が、平成 19 年度から始めた事業です。



白鳥さん(右)と平松部長の対談

地区内の 51 団体の活動を紹介する「シート集」

子育てを支える 横浜子育てサポートシステムとは…?

提供会員の心強い声

どうしても都合が悪くなってしまって保育園・幼稚園のお迎えが間に合わなくて困った!体調が悪くて、どうしても子どもを誰かに預けたい!けれどなかなか頼める人がいなかった!という経験は誰しもあるもの。横浜子育てサポートシステムとは、「子どもを預かってほしい人」=利用会員と、「子どもを預かれる人」=提供会員が、会員相互の責任と信頼関係のもとに子育ての援助を行う有償の活動です。

依頼があればお子さんを預かります!

保育園のお迎えにかけます!

子育て支援に力をお貸しします!

小さな手をつなぎ、歌を歌い、寄り道しながら歩くなど、保育園の帰り道は何よりの楽しみのひとつ。

現在、提供会員が港北区では、非常に不足しています。子どもが好き!子育て経験を活かしたい!地域で活動してみたい!という方、そんなお気持ちを子育て支援に活かしてみませんか?



左から事務局 萩原さん、牛久さん、眞壁さん、佐藤さん

提供会員として活動するには事前研修が必要です

●お問合せ

横浜子育てサポートシステム港北支部事務局：大倉山 3-57-3(地域子育て支援拠点どろっぶ内) TEL 045(547)6422・FAX 045(540)7421

脳血管疾患等の後遺症のある方々が、地域で元気に活動しています！～中途障害者支援事業のご紹介～



NPO 法人
中途障害者地域活動センター

港北 根っこ の会

住所：港北区綱島西1-6-6
アーバンシュロス綱島 3F
電話・FAX：045-350-5526

脳血管疾患等で半身麻痺や言語障害などの後遺症のある方が、仲間とのふれあいや軽作業、地域との交流を通して、自立した生活を目指して活動している通所施設です。(各区に1か所設置) 自主製品の製作、地域交流活動(バザー参加・小学校との交流等)、教養活動(パソコン教室他)、レクリエーション活動(日帰りバス旅行・軽スポーツ他)など、幅広い活動を行っています。



メンバーで意見交換



アクリルたわし作成

●高次脳機能障害の相談をお受けします●

脳卒中や脳外傷後、意欲が無い、新しいことが覚えられない、うっかりミス等の高次脳機能障害について、専門家が無料で相談に応じています。詳細はお問合せください。(毎月2回、綱島地区センター小会議室にて)

連絡先：NPO 法人中途障害者地域活動センター「港北根っこの会」 電話・FAX045-350-5526



地域リハビリ教室「きすなの会」
イチゴ狩り

現在区内6か所の地域リハビリの会や根っこの会のメンバーが、ボランティアの皆さんの支援を受けながら、連携してバスハイクやスポーツ等を楽しんでいます。

地区リハビリ活動



リハビリ教室 (機能訓練教室)

脳血管疾患等の後遺症のある方で概ね64歳くらいまでの方を対象としています。

この教室では、再発予防の学習会や軽スポーツ・音楽療法・脳リハビリ等様々なプログラムを通じて、同じ病気を経験した仲間との交流を図り、自信を取り戻す貴重な場になっています。



教室の仲間と外食体験中

【参加者の声】

- ・脳梗塞を起こして5年間、家にこもっていましたが、教室に参加して、料理や編み物に挑戦したり、自ら出掛けたり、前向きな生活が送れるようになりました。
- ・職場復帰のステップアップになりました。

言語リハビリ教室 (言語訓練教室)

失語症や構音障害のある64歳くらいまでの方を対象としています。言語聴覚士の先生や障害のある仲間と共にお口の「健口体操」・歌・再発予防の勉強等を行っています。

ボランティア募集中!



リハビリ教室のボランティア

リハビリ教室、言語リハビリ教室では、ボランティアが大活躍しています。(現在14名が活躍中)

【ボランティアの声】

勉強させてもらい、教室に来るのがとても楽しみ。1年間で皆さんと親しくなれました。

【このページに関するお問合せ】

港北福祉保健センター 高齢・障害支援課 高齢者支援担当 保健師まで 電話：045-540-2328 FAX：045-540-2396

地域がより良くなるために奮闘しています！ “地域のチカラ応援事業”

「港北区」の「今」を記録する
“港北ふるさとテレビ局”
を御紹介します！



平成22年度地域のチカラ応援事業に参加した団体50団体。その中から2団体を御紹介します。他の団体についても区ホームページで御紹介しています！

港北区地域のチカラ紹介

外国人が安心して住める町を目指す
“在留外国人が住みやすい町を考える会”を御紹介します！

港北ふるさとテレビ局では、港北の「今」を撮影・取材して、「港北映像アーカイブス」に記録保存しています。今撮影した映像も10年後、20年後は貴重な映像になるはず。撮影した映像は、記録保存するだけでなく、インターネットや地元ケーブルTVで放送、さらにオリジナル番組や映画を制作して、港北公会堂で「港北ふるさと映画祭」を開催し、上映しています。また、制作した映像作品のDVDも販売しています。御希望の方は、E-mailでお問い合わせください。
(代表・伊藤幸晴さん) E-mail: mail@kohoku-furusato-tv.org



撮影風景

ホームページは、<http://kohoku-furusato-tv.org> または してください。

私たちは、国際都市横浜が推進している多文化共生の地域づくりに向けて、在住外国人にとって大きな不安材料となっている、外国語の対応可能な医療機関を探す支援に着目しました。外国語の対応可能な医療機関を示す地図・パンフレットを作成することを目的として、区内在住の外国人の方々に、調査ヒアリングを行いました。また、医師会や歯科医師会を始め関係機関と相談を行いながら、在留外国人のためになる支援活動を続けています。



アンケート集計中

来て! 見て! 話して! 区民活動支援センターはあなたのお世話役です。

職員から地域のみなさまへ

区役所は手続きをする所というイメージを持っていませんか? 区民活動支援センターは、4階でエレベーターを降りてすぐの48番窓口です。お越しいただくと下の写真の3人娘??が「こんにちは!」と声をおかけします。「区内を歩いてみたいな」「何か始めてみたいな」「サークルの仲間を増やしたいな」など何でも気軽に御相談ください。地域の情報もたくさん取り揃えています。屋上庭園の花を見に来たついでにふらりとのおぞいでみてください。

「区役所まで行くのはちょっと…」という方は区内各地区センター・区内各駅のPRボックスなどに「楽・遊・学」という情報紙が置いてありますので一度御覧ください。気軽に参加できる講座やイベント、サークルの会員募集などの情報がたくさん載っていますよ。

たくさんの方に区民活動支援センターを御利用いただきたいと思います、イベント等の開催PRもしています。1月と2月には、港北区「まちの先生」^{*}の体験講座を実施し、参加者から、「楽しかった、また参加したい」という感想をたくさんいただきました。区民活動支援センターのイベントにたくさんの方に参加していただきたいと思います、工夫しています。

^{*}いろいろな知識・経験・技能をお持ちのボランティアの先生



左から金子、藤井、今井

港北区区民活動支援センター

情報紙「楽・遊・学」、貸出機材情報、港北区「まちの先生」のリストがのっています!

地域へ消防署職員、消防団員がおじゃまします！

パパと一緒にベビー・キッズ 救急教室

平成23年2月6日(日)樽町地域ケアプラザにて、お父さんのための小児救急教室が開催されました。

港北消防署の職員が「思わぬけが・急な病気への対応方法」や「心肺蘇生法の講義と実技」などをレクチャーし、お父さんたちは熱心に取り組んでいました。今回参加された方からは、「遊びやコミュニケーションの場はあったが、今回のような“学びの場”は無かったので、とても有意義でした」「救急対応について、消防職員に質問する良い機会であった」という声が多数寄せられました。育児に前向きに取り組む父親同士の意見交換も盛んに行われたようです。



大倉山観梅会で防災PR活動

平成23年2月19日(土)・20日(日)に行われた「大倉山観梅会」で、港北区消防団の皆さんが“防火・防災”についての広報活動を行いました。

港北区では、火災が多発しており、区民の方々にティッシュやチラシを配りながら“火災予防”や“住宅用火災警報器”の早期設置などを呼びかけています。

空気が乾燥した日が続く、区民の方々も熱心に耳を傾けてくださいました。

☆“住宅用火災警報器”についての詳細は、
ホームページで御確認ください！

[住宅用火災警報器 横浜市](#)

[検索](#)



ご近所に“防災の輪”を広げます！ ～地域の安全・安心は自分たちの手で守ります～

日吉地区家庭防災員(代表連絡員 ト部さん)

*写真は、家庭防災員の研修

日吉地区の家庭防災員は、隣近所の助け合いを重視し、日頃から災害対応の訓練だけでなく、顔の見える関係を作っています。

マンションに住んでいる家庭防災員は、災害を想定し、入居している高齢者の方々を、マンションの住民と連携して、安全に避難させる訓練なども行っています。



菊名地区家庭防災員(代表連絡員 江戸さん)

菊名地区はそれぞれの自治会町内会だけでなく、連合町内会としても家庭防災員の結束が強く、防火・防災への関心も強い地区です。

年2回、地域の小学校と合同しての防災訓練を行っており、その他自主防災活動も行っています。若い世代の方も参加しやすい環境を作るため、毎年メンバーを入れ替えての顔合わせをしています。

*写真は菊名地区家庭防災員自主訓練



自治会町内会 加入のご案内

自治会町内会は、地域の防犯・防災を始め、盆踊り・運動会などのレクリエーションなど様々な活動に取り組んでおり、区内には約150の自治会町内会があります。みなさんも是非、自治会町内会の活動に参加してみませんか。

加入に関するお問い合わせは
港北区連合町内会事務局
(港北区役所地域振興課)
TEL: 540-2234